

国際大ダム会議（ICOLD）第 72 回年次例会（韓国・ソウル市）における Pre-Study Tour の東京電力㈱神流川プロジェクト見学について

東京電力株式会社

国際大ダム会議第 72 回年次例会が、2004 年 5 月 16 日から 21 日までの間、韓国ソウル市において開催されました。その中で日本における年次例会前の見学旅行（Pre-Study Tour）の一部として、5 月 13 日に東京電力株式会社の「神流川揚水発電プロジェクト」をご見学いただきました。

「神流川揚水発電プロジェクト」は、長野県南相木村を流れる信濃川水系南相木川の最上流部に上部ダム（中央土質遮水壁型フィルダム、高さ 136m）群馬県上野村を流れる利根川水系神流川の最上流部に下部ダム（コンクリート重力式ダム、高さ 120m）を建設し、この間の落差 653 mを利用して、最大出力 282 万 kW の純揚水式地下発電所を建設するプロジェクトです。

今回の Pre-Study Tour では、本会議に出席される方々の内、総勢 29 名が参加されました。見学会当日は、約半日の行程で、下部ダム、地下発電所、上部ダムの順にご見学いただきました。また、見学会の中では、当プロジェクトの岩盤力学等の各分野における技術開発の内容や経緯についてご説明しました。

当日は、非常に広範囲の移動を伴うスケジュールでしたが、日本のダムや地下発電所の建設技術ならびに揚水発電について、ご理解いただけたものと思っています。



写真 - 1 . 現場見学会の様子（地下発電所にて）

添付ファイルに、現場見学時の主な説明資料を示します。

以 上